

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月12日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社
【英訳名】	WILSON LEARNING WORLDWIDE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長CEO 森 捷三
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目10番6号
【電話番号】	03(6381)0234
【事務連絡者氏名】	執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目10番6号
【電話番号】	03(6381)0234
【事務連絡者氏名】	執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期 連結累計期間	第34期 第2四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	1,463,345	1,558,143	3,028,129
経常利益 (千円)	92,226	112,474	205,224
四半期(当期)純利益 (千円)	84,507	102,945	239,956
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	96,981	140,825	291,531
純資産額 (千円)	1,746,596	2,081,936	1,941,127
総資産額 (千円)	2,644,069	3,012,614	2,978,179
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	16.42	19.97	46.59
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.5	68.8	64.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	43,387	70,279	7,290
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	15,230	19,201	62,060
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	65,444	69,921	174,923
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,268,891	1,576,592	1,505,530

回次	第33期 第2四半期 連結会計期間	第34期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.55	23.02

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第33期第2四半期連結累計期間、第34期第2四半期連結累計期間及び第33期の潜在株式調整後1株当たり当期及び四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績

業績の概要は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間は海外事業は順調に推移し、特に北米、欧州で好業績をあげることが出来ました。

日本国内事業は売上不振に加え、コスト、経費関連が増加し、営業赤字が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高15億5千8百万円（対前年同期比6.5%増）、営業利益7千6百万円（対前年同期比39.5%増）、経常利益1億1千2百万円（対前年同期比22.0%増）となっております。また四半期純利益は1億2百万円（対前年同期比21.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (イ) 国内

当第2四半期連結累計期間は、製薬、自動車など弊社がサービスを提供する主要な業界で、新規の契約獲得に成功しましたが、一部の既存顧客からの失注や、大口契約の実施時期の見直しなどがあり、売上高は前年同期を下回りました。

また、個別の顧客企業への対応に伴う開発費用及び退職給付費用の増加により、営業赤字が増加いたしました。

この結果、売上高5億7千万円（対前年同期比7.8%減）、営業損失7千3百万円（対前年同期比346.4%増）となりました。

#### (ロ) 北米

売上はグローバル顧客向けの案件は減少しましたが、直販部門の売上が増加し前年同期を上回ることが出来ました。

また、プロジェクト管理による利益率の改善とライセンス収入の増加により営業利益を計上出来ました。

この結果、売上高8億9千1百万円（対前年同期比21.4%増）、営業利益8千1百万円（対前年同期比353.6%増）となりました。

#### (ハ) 欧州

イギリス及びフランスにおいて既存の大口顧客の受注が増加し増収増益となりました。

この結果、売上高2億2千8百万円（対前年同期比18.9%増）、営業利益2千4百万円（対前年同期比56.9%増）となりました。

#### (ニ) 中国

当第1四半期において社長が退任したことにより売上に影響が表れ、減収減益となりました。なお、社長の後任は10月より就任いたしました。

この結果、売上高1億9百万円（対前年同期比22.4%減）、営業利益2千3百万円（対前年同期比38.9%減）となりました。

#### (ホ) アジア・パシフィック

アジア地区はエージェントからの収入が引き続き増加し、オーストラリア、インドともに既顧客の案件が増加し、増収増益となりました。

この結果、売上高8千8百万円（対前年同期比34.0%増）、営業利益9百万円（前第2四半期連結累計期間は6百万円の営業損失）となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の計上、収入として売上債権の減少がありましたが、支出として前受金の減少、長期借入金の返済があり、前連結会計年度末に比べ7千1百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には、15億7千6百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、7千万円（前第2四半期連結累計期間は4千3百万円の資金の減少）となりました。この主な理由は、税金等調整前四半期純利益1億1千2百万円の計上、減価償却費2千万円の計上、収入として売上債権の減少5千9百万円等がありましたが、支出として前受金の減少6千万円等があり、収入が支出を超過したことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果増加した資金は、1千9百万円（対前年同期比26.1%増）となりました。この主な理由は、収入として定期預金の払戻による収入2千7百万円、投資事業組合分配金による収入2千5百万円等がありましたが、支出として定期預金の預入による支出2千9百万円等があったことによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果減少した資金は、6千9百万円（前第2四半期連結累計期間は6千5百万円の資金の増加）となりました。この主な理由は、支出として長期借入金の返済による支出3千7百万円、社債の償還による支出2千4百万円等があったことによるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は5千6百万円となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,230,720
計	17,230,720

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,154,580	5,154,580	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	5,154,580	5,154,580	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	5,154,580	-	722,698	-	557,452

## ( 6 ) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
森 捷三	東京都千代田区	906	17.58
株式会社日本経済新聞社	東京都千代田区大手町1丁目3-7	773	15.00
サンウッド株式会社	兵庫県神戸市東灘区西岡本2丁目7-2-1121	338	6.56
株式会社ジャフコ	東京都千代田区大手町1丁目5-1	200	3.90
山口 貴弘	東京都新宿区	200	3.88
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	163	3.18
鈴木 茂三郎	福島県河沼郡柳津町	150	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口	東京都中央区晴海1丁目8-11	89	1.74
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	86	1.67
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	76	1.49
計	-	2,985	57.91

## ( 7 ) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,150,900	51,509	-
単元未満株式	普通株式 3,280	-	-
発行済株式総数	5,154,580	-	-
総株主の議決権	-	51,509	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、200株(議決権の数2個)含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 株式数の割合 (%)
ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社	東京都港区六本木一丁 目10 - 6	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,584,187	1,661,052
受取手形及び売掛金	615,993	593,822
たな卸資産	32,962	26,183
繰延税金資産	12,123	12,892
その他	59,480	80,012
貸倒引当金	29,863	31,790
流動資産合計	2,274,882	2,342,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,118	116,972
工具、器具及び備品(純額)	17,830	14,524
土地	60,725	60,725
リース資産(純額)	12,419	9,271
有形固定資産合計	214,092	201,492
無形固定資産		
ソフトウェア	2,716	2,599
リース資産	3,873	300
その他	785	567
無形固定資産合計	7,374	3,466
投資その他の資産		
投資有価証券	181,435	162,082
敷金及び保証金	98,915	100,576
長期貸付金	19,824	21,280
退職給付に係る資産	86,807	81,461
繰延税金資産	91,373	97,167
その他	40,192	39,634
貸倒引当金	36,715	36,715
投資その他の資産合計	481,831	465,485
固定資産合計	703,297	670,443
資産合計	2,978,179	3,012,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	163,542	167,653
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	49,500	49,500
1年内返済予定の長期借入金	75,500	63,002
未払金	7,982	5,975
未払消費税等	6,364	21,855
リース債務	11,212	7,209
未払法人税等	13,220	5,117
賞与引当金	18,408	28,156
繰延税金負債	664	-
未払費用	130,895	148,749
前受金	143,561	91,104
その他	17,315	15,203
流動負債合計	738,163	703,523
<b>固定負債</b>		
社債	100,500	75,750
長期借入金	66,168	40,920
リース債務	7,597	4,190
繰延税金負債	52,391	49,206
退職給付に係る負債	5,607	3,487
資産除去債務	51,330	52,085
その他	15,296	1,517
固定負債合計	298,889	227,155
負債合計	1,037,052	930,678
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	722,698	722,698
資本剰余金	557,452	557,452
利益剰余金	401,222	504,166
自己株式	175	190
株主資本合計	1,681,197	1,784,126
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	15,575	11,915
為替換算調整勘定	230,431	276,615
その他の包括利益累計額合計	246,006	288,530
少数株主持分	13,924	9,280
純資産合計	1,941,127	2,081,936
負債純資産合計	2,978,179	3,012,614

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,463,345	1,558,143
売上原価	481,268	491,409
売上総利益	982,077	1,066,734
販売費及び一般管理費	927,029	989,945
営業利益	55,048	76,789
営業外収益		
受取利息	788	2,676
受取手数料	6,000	-
受取配当金	1,000	1,000
賃貸料収入	616	479
為替差益	24,322	5,588
投資事業組合運用益	10,876	11,730
持分法による投資利益	-	17,782
雑収入	1,169	703
営業外収益合計	44,771	39,958
営業外費用		
支払利息	3,001	3,222
減価償却費	360	-
賃貸収入原価	616	479
持分法による投資損失	1,889	-
雑損失	1,727	572
営業外費用合計	7,593	4,273
経常利益	92,226	112,474
特別利益		
投資有価証券売却益	1,531	-
受取和解金	5,194	-
特別利益合計	6,725	-
税金等調整前四半期純利益	98,951	112,474
法人税、住民税及び事業税	15,825	15,998
法人税等調整額	1,197	1,825
法人税等合計	14,628	14,173
少数株主損益調整前四半期純利益	84,323	98,301
少数株主損失( )	184	4,644
四半期純利益	84,507	102,945

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84,323	98,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	3,660
為替換算調整勘定	12,397	46,184
その他の包括利益合計	12,658	42,524
四半期包括利益	96,981	140,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,165	145,469
少数株主に係る四半期包括利益	184	4,644

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	98,951	112,474
減価償却費	23,588	20,929
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,252	581
役員賞与引当金の増減額(は減少)	3,665	-
賞与引当金の増減額(は減少)	7,019	9,567
受取利息及び受取配当金	1,788	3,676
支払利息	3,001	3,222
持分法による投資損益(は益)	1,889	17,782
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	1,531	-
受取和解金	5,194	-
投資事業組合運用損益(は益)	10,876	11,730
売上債権の増減額(は増加)	25,521	59,922
たな卸資産の増減額(は増加)	5,682	7,710
その他の資産の増減額(は増加)	23,972	2,421
仕入債務の増減額(は減少)	737	187
前受金の増減額(は減少)	67,604	60,405
未払金の増減額(は減少)	4,106	2,007
その他の負債の増減額(は減少)	48,193	9,635
その他	10,364	27,802
小計	32,703	102,872
利息及び配当金の受取額	1,203	2,497
利息の支払額	3,095	3,197
和解金の受取額	5,194	-
法人税等の支払額	14,269	31,893
法人税等の還付額	283	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,387	70,279
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	13,160	29,080
定期預金の払戻による収入	13,160	27,279
投資有価証券の売却による収入	1,750	-
投資事業組合分配金による収入	19,000	25,400
有形固定資産の取得による支出	8,130	2,384
有形固定資産の売却による収入	-	19
ソフトウェアの取得による支出	-	896
資産除去債務の履行による支出	1,136	-
敷金及び保証金の差入による支出	1,646	1,879
敷金及び保証金の回収による収入	5,192	742
貸付金の回収による収入	200	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,230	19,201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の償還による支出	-	24,750
長期借入金の返済による支出	29,166	37,746
株式の発行による収入	103,858	-
リース債務の返済による支出	9,248	7,410
自己株式の取得による支出	-	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,444	69,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,475	51,503
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	57,762	71,062
現金及び現金同等物の期首残高	1,211,129	1,505,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,268,891	1,576,592

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
研修材料	6,082千円	5,094千円
仕掛品	25,506	20,281
貯蔵品	1,374	808

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目と金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
給与手当	409,485千円	427,614千円
退職給付費用	12,026	17,582
賞与引当金繰入額	25,061	25,948
役員賞与引当金繰入額	3,665	-
貸倒引当金繰入額	2,568	1,236

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	1,344,891千円	1,661,052千円
預入期間が3か月を超える定期預金及び担保預金	76,000	84,460
現金及び現金同等物	1,268,891	1,576,592

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内	北米	欧州	中国	アジア・パシフィック	合計
売上高						
外部顧客への売上高	525,898	593,063	161,290	121,970	61,124	1,463,345
セグメント間の内部売上高又は振替高	93,087	141,130	31,194	19,006	4,848	289,265
計	618,985	734,193	192,484	140,976	65,972	1,752,610
セグメント利益又は損失( )	16,382	17,954	15,714	39,083	6,053	50,316

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	50,316
セグメント間取引消去	4,732
四半期連結損益計算書の営業利益	55,048

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	国内	北米	欧州	中国	アジア・パシ フィック	合計
売上高						
外部顧客への売上高	468,930	739,099	200,402	91,345	58,367	1,558,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102,022	152,102	28,370	18,032	30,064	330,590
計	570,952	891,201	228,772	109,377	88,431	1,888,733
セグメント利益又は損 失（ ）	73,137	81,443	24,650	23,889	9,158	66,003

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	66,003
セグメント間取引消去	10,786
四半期連結損益計算書の営業利益	76,789

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
1株当たり四半期純利益金額	16円42銭	19円97銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	84,507	102,945
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	84,507	102,945
普通株式の期中平均株式数（株）	5,146,326	5,154,150

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。



## 2【その他】

該当事項はありません。

**第二部【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月11日

ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 浅野 俊治 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 山口 直志 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。